



おおやっ子



TEL079-669-0016

養父市立大屋小学校 令和4年11月14日発行

食育参観日・マラソン大会、ありがとうございました!!

秋本番、谷々の紅葉も深まり、とてもきれいです。今年の秋もコロナ禍が比較的落ち着き、いろいろな行事を行いながらしっかり学習しています。2学期の子どもたちは、心身共に大きく成長します。できることがたくさん増えてきます。ぜひ、子どもたちの良さや頑張りを認め、ほめてあげてくださいね!!

さて先月は、食育参観日(10/14)、マラソン大会(10/21)と、大きな学校行事がふたつありました。食育参観日では、本校が力を入れている「SDGs大屋の食育」の取組実践を各学年の授業と、食育講演会でご覧いただきました。平日にも関わらず多くのご参観ありがとうございました。豊かな自然と食文化にあふれる大屋は、食育学習に最適な地です。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

マラソン大会は、雨天で予定より2週間延期しました。当日は、さわやかな秋晴れとなり、全校生が力いっぱい自分の限界に挑戦しました。沿道でのご声援が子どもたちの力となりました。ありがとうございました。また、交通監察係をお願いしました保護者の皆さんには、子どもたちのためにご支援いただき、本当にありがとうございました!!

今月は、11/18(金)に学習発表会を計画しています。続く平日開催で申し訳ありません。また、コロナ禍に配慮して、人数制限(一家庭より2名まで)がありますが、多くの保護者の皆さんのご参観をよろしくお願いいたします。



やぶルスツなかよしカレー、オンライン交流会(5年生)10/13

和牛が取り持つ、北海道留寿都村と養父市との交流40周年記念事業のひとつ、両市村の給食カレーオンライン交流会が無事開催されました。養父市の代表校として、食育に取り組む本校が選ばれ、社会科で日本の農業を学習する5年生がオンライン交流をしました。北海道産のじゃがいも、にんじん、たまねぎ入りカレーは、とてもおいしかったです。これを機会に、5年生や他学年でも、今後オンライン交流授業をする予定です。遠い北海道の友だちと楽しく学習していきましょう!!

神戸新聞 10/22 6ページ

姉妹都市の北海道・留寿都村から届いた野菜、市内の給食に



留寿都村から撮影を受けたジャガイモやニンジンなどを使ったカレーライス。給食として児童に提供された。大屋小

オンラインで児童交流

養父市内の小中学校と養父市立大屋小学校と、北海道留寿都村で、北極圏産野菜から提供されたジャガイモ、ニンジンなどを使ったカレー約1800食の給食を出した。同じ留寿都村と姉妹都市交流を続ける様で、大屋小学校(同市大屋町山内)では留寿都小とオンラインで給食、交流しながら食べた。旧養父町と留寿都村は、1981年に姉妹提携をした。互いの小学校を訪問するなどの交流を続けている。昨年に交流40周年を迎え、今年の上旬に留寿都村で記

養父市内の小中学校と養父市立大屋小学校と、北海道留寿都村で、北極圏産野菜から提供されたジャガイモ、ニンジンなどを使ったカレー約1800食の給食を出した。同じ留寿都村と姉妹都市交流を続ける様で、大屋小学校(同市大屋町山内)では留寿都小とオンラインで給食、交流しながら食べた。旧養父町と留寿都村は、1981年に姉妹提携をした。互いの小学校を訪問するなどの交流を続けている。昨年に交流40周年を迎え、今年の上旬に留寿都村で記

地域に生まれ、仲間と伸びる大屋っ子～R4学力テストの考察～

本年度の6年生「全国学力・学習状況調査(算・国・理)」の結果が届き、結果の考察をしましたので、遅くなりましたが報告します。令和4年度は、4月19日に実施しました。3年に一度の理科もありました。

<本校結果の考察>

1 国語

○高い正答率の問題

- ・読むこと「人物像や物語の全体像を具体的に想像する」
(正答率77.3% 全国比+9.0)

○結果につながった指導

- ・国語を中心に、文章を要約して短文で書かせる指導の継続。
- ・朝の読書や「そうあんくんの日」の読書活動など、読書指導の充実。

△低い正答率の問題

- ・言葉の特徴や使い方「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがある」
(正答率50.0% 全国比-18.8)

★改善への取組

- ・授業のふり返りを書く中で、感想だけでなく、疑問点や発見したことを書かせる。
- ・文章の構成を捉えたり、目的や意図に応じて読んだり書いたりする活動を工夫する。



2 算数

○高い正答率の問題

- ・数と計算「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる」
(正答率86.4% 全国比+10.4)

○結果につながった指導

- ・国語を中心に、算数においても文章を要約して短文でまとめて書く指導の継続。
- ・タブレットPCや大画面モニターを活用した、視覚支援の充実。

△低い正答率の問題

- ・変化と関係(割合)「数量が変わっても割合は変わらないことを理解している」
(正答率9.1% 全国比-12.3)

★改善への取組

- ・小学校の算数で一番むずかしいとされる「割合」の学習を概念から再度指導していく必要がある。
- ・ノート整理の仕方、数量の関係を図や表に表す活動を継続する。

3 理科

○高い正答率の問題

- ・「粒子」を柱とする領域「メスシリンダーの正しい扱い方を身につけている」
(正答率81.8% 全国比+11.8)

○結果につながった指導

- ・児童全員が実験用具を実際に触って動かす、実体験により効果を上げる学習の継続。
- ・見通しをもち、筋道立てて考え、考察する理科学習の積み重ね。

△低い正答率の問題

- ・「粒子」「地球」を柱とする領域「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」
(正答率40.9% 全国比-21.1)

★改善への取組

- ・自然事象の学習は、できるだけ多くの実体験を着実にさせることが重要である。
- ・天候等に左右される学習は、タブレットPCや学習ビデオを効果的に活用していく。

4 質問紙

○よい結果だった質問

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。

(当てはまる59.1% 全国比+35.7)

- ・家で、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。

(先生に聞く63.6% 全国比+28.0)

○よい結果につながった背景

- ・山間部にある学校なので、地域コミュニティが発達しており、三世帯家庭が多いこともあって、地域行事に抵抗なく参加できる風土がある。
- ・思いやりある仲間づくりを心がけ、いじめのない学級経営、個々を大切にしている指導に取り組んでいる。



<まとめ>

理科は、ほぼ全国平均でしたが、国語・算数の学力は、まだまだ課題が多いのが現実です。しかし注目したいのは、「4質問紙」のよい結果だった項目です。昨年に引き続き全国比30ポイント以上は、誇れる結果です。本校児童は、地域と関わりを多くもち、地域に見守られながら育っています。担任との信頼関係が厚く、多くの人や友だちとの関わりの中で、仲間づくりを進め、思いやりや優しさがしっかり育っています。これからも大切にしていきたい大屋っ子の姿ですね!!

<お知らせ>2学期末個別懇談会 13:30～ 12月20日(火)口大屋・南谷/21日(水)大屋・西谷